

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：福間・奈良井]

TEL：0853-22-6905

FAX：0853-24-3342

平成29年度 病害虫発生予察情報 技術資料第3号

平成29年4月3日

島根県病害虫防除所

タマネギべと病の<sup>えつねんりびようかぶ</sup>越年罹病株の発生状況について

タマネギべと病の越年罹病株が県内各地で認められ、発病株率の極めて高いほ場も確認されています。今後、本病の多発が懸念されます。

現地では発生状況を把握し、発病株の抜き取り、薬剤散布など防除対策の徹底をお願いします。

1. 発生状況と今後の予想

- 1) 3月下旬の巡回調査では、越年罹病株の発生ほ場率が23.3%（平年28.7%）、1万株当たりの同発病株数は3.3株（平年6.6株）と平年並みであったが（図1）、多発生ほ場も認められた。
- 2) 中国地方1ヶ月予報（4月1日～4月30日、広島地方气象台3月30日発表）によると向こう1か月の気温は低い確率が40%であるため、本病の本病の発生を特に助長する要因とはならないと考えられる。

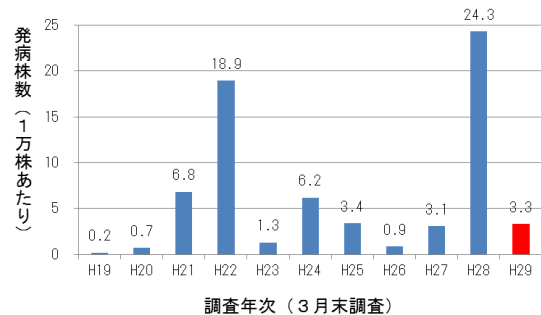


図1 過去10年のタマネギべと病越年罹病株の発生状況

2. 防除対策および防除上の注意事項

- 1) 越年罹病株は継続的に胞子を形成し、重大な伝染源となるため、抜き取っては場外へ持ち出し適切に処分する。
- 2) 越年罹病株、又は発病株が認められた場合には、感染拡大防止のため、直ちに薬剤による防除を行う。

3. 本県における過去のタマネギべと病の注意報発表状況（警報の発表はなし）

発表年月日	発表時の状況
平成22年4月5日	越年罹病株発生ほ場率73.3%、越年罹病株発病株率18.9株/1万株
25年5月2日	発生ほ場率53.3%、発病株率7.9%
27年4月2日	越年罹病株発生ほ場率44.8%、越年罹病株発病株率3.1株/1万株
28年3月30日	越年罹病株発生ほ場率53.3%、越年罹病株発病株率24.3株/1万株

【越年罹病株の特徴】

葉の光沢がなくなり淡黄緑色になり、生育も遅れ、葉は湾曲する（写真1）



写真1 タマネギベと病越年罹病株（赤枠内の株）